

平成24年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
1項 商業費
2目 商業振興費

経済通商総室[経営支援室](内線:7658)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
(新)繊維産業ネットワーク構築事業	316	0	316				316	
トータルコスト	4,339千円(前年度 0千円) [正職員:0.5人]							
主な業務内容	繊維産業ネットワークの構築(参加企業間の連絡調整、関係規定整備等)、設立総会・運営委員会等開催、新卒就職者定着支援 など							
工程表の政策目標(指標)	—							

説明

1 事業の概要

県内主要産業の一つである繊維産業について、事業者間の横の連携組織(ネットワーク)を構築し、繁閑期の業務の平準化(ワークシェア)や人材の確保・定着、販路開拓の取組など、経営の安定や雇用維持、業界全体の活性化を図るための各種共同事業の実施検討を行う。

2 事業内容

○繊維産業ネットワークの構築・運営

県内繊維関連事業者の連携組織(繊維産業ネットワーク)を設置し、県内繊維産業の活性化に向けた共同事業の実施(平成24年度~26年度)を検討。
なお、当面、県が事務局となりネットワークの運営を支援。

【事業概要】

区 分	事業費(千円)	内 容
ネットワーク設立総会	246	設立総会、啓発講演会の開催
運営委員会・種別部会等開催	35	運営委員会等開催、実施事業検討
新卒就業者定着支援	35	企業と学校の意見交換機会の提供
合 計	316	

※具体的な共同事業については、ネットワーク組織で検討した上で、補正予算で提案予定。

【想定される共同事業】

①県内事業者交流会の開催(県内マッチング)

- ・事業者間(異業種含む)の情報交換、意見交換の機会の提供
- ・繁閑時のワークシェアによる業務平準化

※必要に応じて企業情報DB(生産品目、技術、繁閑時期等)の構築、ワークシェアの取組への活用を検討

②商談会の開催、出展斡旋等(県外販路マッチング)

- ・県外における商談会の開催、販路開拓支援
- ・繊維関連見本市、商談会への出展支援

③新卒就業者の定着支援(企業と学校との調整 等)

- ・新卒就業者のミスマッチ解消のための企業と就職指導教員との意見交換の実施
- ・新卒就業者に対する学校の就職後フォローの要請

3 これまでの取組状況、改善点

○雇用創造1万人パートナーシップ会議「繊維産業ワーキンググループ」開催(H23.8.5、11.9)

【主な意見】

- ・繁閑のある業種であり、繁閑時期の対策ができれば雇用に繋がる。
- ・小規模事業所には販売力・営業力がない。商談会など販売店との橋渡しの場の設定を望む。
- ・就職指導教員の繊維業界に対する意識改革(求める人材)、就職後フォローがミスマッチ解消、定着向上に繋がる。

【参考】繊維産業の現状(H10⇒H21の変化)[従業者数4人以上の事業所]

- 事業所数:276 ⇒ 96(所) ○従業者数:8,444 ⇒ 3,171(人)
- 製造品出荷額等:595 ⇒ 243(億円)